

## 令和4年成人式 式辞

新年あけましておめでとうございます。

新型コロナウイルスが蔓延し、with コロナという新しい生活様式を模索する中、無事に成人式を迎えられた新成人の皆さん、誠におめでとうございます。江津市民を代表して、心からお祝い申し上げます。また、本日は会場に入ることができないご家族の皆様におかれては、立派に成人された姿を目にされ、その感激もひとしおのことと思います。これまでのご苦労に敬意を表すると共に、改めてお慶びを申し上げます。

さて、いつの時代も多くの課題に直面し、それを皆で乗り越えていかななくてはなりません。江津市では、人口減少に抗いながら「小さくともキラリと光るまち とうつ」を目指し、「GO▶GOTSU 山陰の創造力特区へ」というスローガンを掲げ、まちに芽吹き始めている創造的な動きを後押ししています。この持続可能なまちづくりへの取り組みは皆さんのような若い世代の創造力が不可欠です。江津の創造力が拓く未来への実現に向け、若い皆さんの参加をお待ちしています。

ところで、皆さんは、柿本人麻呂という万葉歌人の名前をご存じだと思います。人麻呂の活躍した時代は大化の改新直後の激動の時代でした。その時代にあつて、人麻呂は、日本文学の始まりとも言われる大きな足跡を残しました。石見相聞歌と呼ばれる、人麻呂がこの地域を詠んだ和歌の数々を皆さんもご存じかと思います。彼の功績がなければ、今日(こんにち)私たちが使っている日本語も日本文化も違ったものになっていたかもしれません。人麻呂は、まさに想像以上の創造性(クリエイティビティー)を発揮したのではないのでしょうか。大化の改新の「大化」とは、日本で最初の元号の名前です。今皆さんが生きる二四八番目の元号である「令和」の時代は、大化の改新にも劣らぬ、人類史に残る大転換のなかにあります。そして皆さんは、人麻呂が過ごしたともいわれる同じ土地で、同じ空気を吸って育ちました。きっと、彼のような豊かな創造性が、皆さんの中にも脈々と息づいているはずです。この激動の時代にあつても、皆さん一人一人が、現代の柿本人麻呂となつて、豊かな創造性を発揮し、充実した輝かしい人生を歩んでいくことを確信しています。

今や皆さんは、江津はもとより日本の未来の担い手です。また、未成年が目標とし、憧れとなる大人でもあります。新しい未来に向け邁進するという高い志をもって、各方面でご活躍下さいますようご期待申し上げます。

結びに、皆さんの限りない発展とご健勝をご祈念申し上げますとともに、今まで皆さんを慈しみ育て下さった全ての方々のご健康、ご多幸を心より祈念してお祝いの言葉いたします。

令和4年1月2日

江津市長 山下 修